（十四日夕刊）

休刊日　第一・第三日曜
定價　一部二錢郵税共　一ケ月六十錢　十五錢
廣告料　登行六十回　指定廿錢
書行兼發行人　鹽澤鶴輔
福島縣平町田町十六番地
發行所　磐城新聞社
電話五六四番

夏の夕暮れ

中井生

太陽のしぶきが田畝の中に頭を垂れて
みんみん、蟬が樂園の夢見ると
スイスイトンボの生涯の願い池の中には蛙の欠びすがしい、そよかぜよ
鶏小屋には、はちきれさうな私と
まちまちの風景の現實をとつぶりと包んでゐる

トマト

ふつくらと紅らんだ子供の頬べたを見付けましたので
一寸手を振れて見ましたトマトよりは少し大きいよ

おそ春

榛子

口さがぬ近所の人に種々の、噂されにし十七の頃
枯るな叱りてみれど何かなる、悲しき思ひ胸みちし

友逝く

百年も千年も坐せどもねがひども、君はも神に召され逝く身の
悲しくも悲しきものかな世の、花もみすして散れる友垣
青空に眞ひるの光かがやけど、葬の庭に秋雨の降る
現世は儚なきものか束の間に、みたりの友の影消えにけり

朝起きの家

清水生

朝起きの家は朝日が差しこんで貧乏神の入りどころなし
世の中に親につかふる誠こそよろづの道の基なりけ
千里行く道も始めは一歩みづ低きよりして高く登る

つ
文字知らぬ身にも心に德あれば暗夜も世の心地こそすれ
独斷こそ大敵なりと心得て堅固に守れたのが命を許までは心が配り切れなかつたから、思はず足に力が入つて滑つたのであります
ハッと思つた途端、捨て身の安兵衛は飛込んでズブリッと突きます、誠心凝つた一刀はのど深く突込みました……「ウワー」と郷藏バタリ倒れる、踊り込んだ様のお覺え目出度き川上典膳の舍弟、新規お取立になつたと云ふのも、典膳の娘が殿様の御愛妾となつて居る、それ等關係からであるから、お賞めになるべき所もお賞めにならず、却つて其方の落度を詰責されると云ふ事が無いとも限らず、夫れ是れを能く心得て置くやうに……」と六郎衛門が說き聞かせます、實際女の尻の光る程恐ろしい事はないのであります、其處近所隣知り合出入りの者等隈なく知らせ上へ報して仇討の義を届けに及びました、親類縁者は勿論のこと近隣の人の一同に早速知らせます、黒田郷藏は平素から餘り評判のよくない人物がそれ程恐かつた譯で

明日　六月新月
吉の凶　舊暦　廿日
曆五日

▲一白の人　出づること多く從つて迷ひも生じ易し注意
▲二黑の人　急激の打撃を受ることある最大注意日
▲三碧の人　逆轉が前進かの分路に立つ日初志を枉るな
▲四緑の人　吉辰なれども勢ひに任せて驕すれば脱線す
▲五黄の人　良き位置に居ても何となく落付時
▲六白の人　表面は穏かの樣に見へても油
▲七赤の人　誘ひに乘らず堅實に進むと
▲八白の人　吉日となる
▲九紫の人　眞面目を襲ふ敵はなし

辛抱して撓むなかれ
目上の信頼あり十分手腕を發揮せらるゝ日

覺悟を決めてその機を窺ひます。此の時黒田郷藏打合ひの足場を計る爲め座敷内を眺め始めた、是れが郷藏の天運の盡きた所なのでありませう、おみづの死骸の側へと來た時、死骸かゝ吹き出した泉の如き血汐の爲め、ズッと滑つた——足許までは心が配り切れなかつたから、思はず足に力が入つて滑つたのであります

ハッと思つた途端、捨て身の安兵衛は飛込んでズブリッと突きます、誠心凝つた一刀はのど深く突込みました……「ウワー」と郷藏バタリ倒れる、踊り込んだ様のお覺え目出度き川上典膳の舍弟、新規お取立になつたと云ふのも、典膳の娘が殿様の御愛妾となつて居る、それ等關係からであるから、お賞めになるべき所もお賞めにならず、却つて其方の落度を詰責されると云ふ事が無いとも限らず、夫れ是れを能く心得て置くやうに……」と六郎衛門が說き聞かせます、實際女の尻の光る程恐ろしい事はないのであります、其處近所隣知り合出入りの者等隈なく知らせ上へ報して仇討の義を届けに及びました、親類縁者は勿論のこと近隣の人の一同に早速知らせます、黒田郷藏は平素から餘り評判のよくない人物がそれ程恐かつた譯で

……「ウーム尋常の勝負はな樣だが、兎も角も武か……」六郎衛門感じた——士は武士だけ家係を重んじ——「黒田は家中でも評判のて居たものです、羽振りの使ひ手、若年の貴樣の敵でよい川上典膳が餘り素性がはない筈だ、イヤ天晴〳〵我娘の殺されたのゝ構はず安兵衛の勝負運の好かつたこと事のみ感心してゐる、是れも女は男の附き物の如く奴僕の如く考へられてゐる道德の無慘な現はれでありませう……「ねゝおぢい樣只今亡き母に敵の首を手向け、回向仕りますに立會下され」安兵衛郷藏の首を前に備へて頻りに默禱を捧げて居ります——「安兵衛御近所へお知らせ致し屆ける所へ早く屆けねばならぬ此處で心得の爲め其方に申聞かせる事がある、成程これは立派な仇討に相違ない併し相手は錄が少くとも殿快くない、其の縁者だから郷藏をよく云ふものか檢死……「別段檢死するに及ばぬ、是れにて檢死に濟んだ事に致そうが、何しろ荒ね目出度き川上の舍弟を殺したのだから、郷藏の武士にあるまじき振舞をよく調べて云ふでなくとも何だかな」と云ふ……。

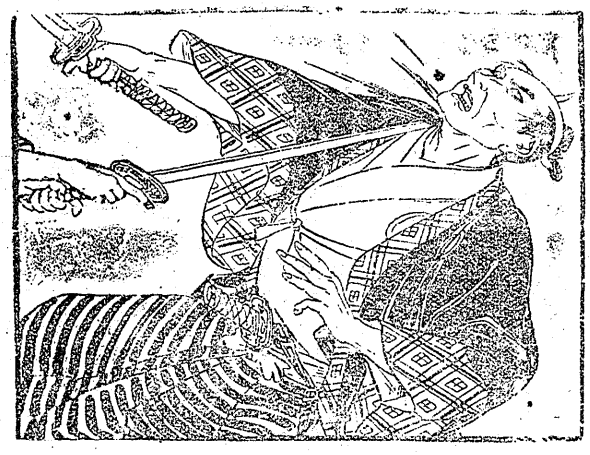
講談

永穎安兵衛

東京　桃川燕二演
村田月光畫

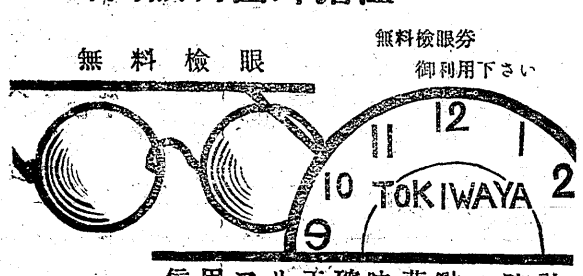
（二千四）

併し後世に名をなす程の人物でありますから、此の樣に依て大いに得ろがありまして、此の後中山の家敷へ賊付ます——「安兵衛殿と致した」——「ハテ、此の樣な行けば仇を打つどころで見ると黒田郷藏かけて染はない、郷藏の爲めに討たて倒れてゐる、其處にはみづの死骸も轉つてゐ——「たちい樣よい處へた出で下さいました、只今此の通り母の仇討を仕りました」——「ナニ尋常の勝負に近隣の人の一同に早速知らせます、黒田郷藏は平素から餘り評判のよくない人物がそれ程恐かつた譯で



専門眼科醫師擔任

無料検眼　無料検眼券御利用下さい



信用アリ正確萬點ノ時計
御客樣ノ位本部眼鏡
常盤屋時計店　電三三九　平壹

内科、小兒科
花柳病科
入院應需
藤沼醫院
平町紺屋町
電話平壹五〇七番

貸切は
（料金低廉な）
磐城タクシーへ
電話四五四番
平驛前

夜診
胃腸
内科
十二指腸病
專門部
内科
淋病
婦人病
皮膚病
專門部
外科
花柳病科醫院
（平南町電話一〇七番）
療間

外科一般（入院隨意）
内臓外科專門
花柳病科
平町六丁目（橋際）
木村外科醫院
電話三〇九

美味にして強壮の効大
スポン
血をふやし肉を肥やす
スツボン飴　一圓
スツボン酒　二圓
スツボンヘモクロビン錠　三圓
平町五丁目角
山野邊藥局

一圓十錢
マルソー、ブランク
マルソー、ルージ
優良にして安價賣行き飛ぶが如し
生葡萄酒
平二
西村屋藥舗
たはなし
三番

特賣!!
たひら正宗
福島縣清酒品評會一等賞受賞
花春
同優等賞受賞
醸造元
花柳
醤油
山崎合名會社
電話一〇番

專門
内科一般
内科ハ何デモ診療致シマス
呼吸器病バカリデハアリマセン
平町南町六五
川井内科診療所
醫學士　川井重之
女醫　川井安子
電話七二二番

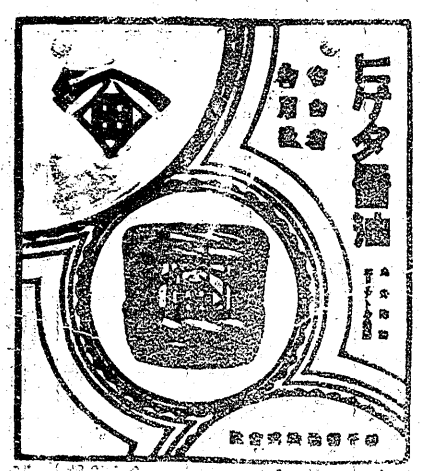
長品廉賣に勝る
商略なし
磐城セメント特約代理店
金物問屋
和洋銅鐵
久
釜屋商店
磐城國平町五丁目
電話九番一三九番
振替貯金口座東京一〇九五六番

確實敏捷は久の生命なり

安價輕便
實用的冷藏庫の
特價提供……
特長
一、安價にして輕便且つ堅牢大衆向きであり眞に豪所の寶器であります。
二、絶緣材料として優秀なる山形ルーフィングを使用してありますから氷の消費料極めて僅少で非常に經濟的であります。
三、小型冷藏庫一個の重量僅かに一貫五百匁位ですから野外携行用として又旅行用として飲食物其の他、殊に生物の保存運般に頗る便利であります。
四、病院又は各家庭に於ける病室用として至極輕便にして重寶であります。
五、嚴寒の節には保溫器として用ひられ御飯其他日常飲食物の溫かみを長時間保つ事が出來ます

冷藏庫の寸法
小型　間口一尺二寸　奥行一尺　高サ九寸　定價五圓五十錢
大型　間口一尺五寸　奥行一尺二寸　高サ一尺一寸　定價七圓五十錢
釜屋商店器物部

内科
外科
花柳病科
入院隨意
自炊の便あり
平町田町赤心堂病院跡
安齋外科醫院
電話四三六番



平町田町
特約店
廣澤支店
電話五四番

スツボン藥局

常磐各炭礦の發送高
前年七月に比し四萬噸減
刻々襲ふ不景氣の聲
各礦全く受難時代

常磐各炭礦は現在に於ける不況切拔けの苦肉策としてあらゆる打開の途を講じつゝあるも刻々襲來する不景氣風は遂に其の骨髓にまでも徹しやうとする有樣で各礦は今や全く浮ぶ瀬もないドン底の苦衷に沈淪してゐるのみである。今常磐各炭礦の關係各驛よりの發送炭數量を調査するに去七月中の發送高は無煙炭の營業用三萬二千四百九十一噸同省用二千〇十四噸合計三萬四千五百五噸で有煙炭の營業用七萬九千九百六十六噸同省用五萬一千二百四十四噸合計十三萬一千二百十噸にして之れを前年度七月中の發送高に比較すると有煙炭を通じ實に四萬百七噸の大激減を示してゐる尙本月一日より十日迄の各驛發送高は五萬四千八百九十三噸員に對し之が書面審議の形式により承認決定實行をなすべくそれ〳〵通過するところあつた回答期間は二十日までゝあるが十三日正午まで可否の回答があつたものは十四名でその內八件書ばかりの思ひきつた節約に贊成したるもの九名これに反對するもの五名である。贊成者の內には他に經費の節約しないで人件費ばかりの不況時代に減額して役職員の生活上には影響はなきかの條件付で贊成したものもあり全部の回答の結果は贊成者三分の二以上に達することは困難なる模樣である

人命救助で
表彰申請

石城郡草野村驛前新妻新太郎(二九)は去一日午前九時頃大浦村新舞すに於て水泳中危く溺死せんとしたが濱三郡木炭組業組合檢査員元海軍々人永山高が發見救助した尙永山は二年前も溺死せんとした富山某を救助した事があり今度で二人目で所謂富山某の表彰を出願する由

植田町の
繭市場
秋繭買入れは
来廿五日

石城郡販賣利用組合植田繭市場では去二日役員會を開き協議の結果愈々來る二十五日より秋繭の取引を開始する事に決したが買入資金は低利四萬圓を借入れる事になつたと

不況が生んだ副產物
貸家が多い平町
家賃を踏んだ上立退料
家持つ人の悲哀

現今の不景氣が生んだ副產物酷い奴になると借家人に對して以後一文半錢も支拂はず法律を盾にして頑張つて無理に立退せうとすれば數ケ月の家賃の上更に多額の立退料を强要して家主も泥棒に追錢で泣く〳〵ある金をやつて立ノいてもらふ樣なものが昨今正確に調査したならば平町だけでも異常な數に達するだらうと見られてゐるが最近その一例として平町立町十二橋久吉氏は昨年土木業山野誠太郎(假名)に一ケ月十二圓で家を貸したものであるが誠太郎は富磐〇〇會場に押かけ四倉海水浴場の中り一點張、サレド活動の看板寫眞を同じく流しの客のみ多く「一寸シャンだね、コールドビールをやらうか」の聲に振り向くと委はモウ人込みの中に消ゆ

三郡木炭組合の
諮經費節減
代議員間に反對の聲
實現は至難か

濱三郡木炭商業組合では財界不況事業不振の對策として過般評議員間において役職員の報酬給料の減給及手當減、旅費規程を改正役職員の宿泊料日當汽車賃を二割減三等賃費檢査員十名の內三名を減員指導四名を一名に減じその三名を檢査員に定しさる八日八十名の代議

よく揉める
平第三校通路
東西二派に別れて
猛烈な運動

既報の如く平第三小學校通學道路西側一施設擴張の爲ゴタ〳〵ケ月分百五十六圓の家賃を支拂はずそれぞれ下橋は再三立退を迫つたが誠太郎は借家人保護の法規を盾にして頑張つてゐるので橋は家事上の都合で家を整理する必要にせまられず三ケ月分の家賃に五十圓の現金を添へて立退させたものであるが此の種のものが徹底的除去せられざる限り當分家賃値つりが運轉手は廿圓割より發見し音響を鳴らしたものであるが遊戯に夢中となり聞こいねものであつたと

愛人を食ひ殺
すコホロギ

以上あげた虫はいづれもコホロギ科に屬してゐるが其の宗家ともいふべきコホロギは捿息場所ひろく、何でも床の下で聞くことの出來る最も民衆的の音樂家である。それだけに特に人に飼はれるといふ名譽はないが、その鳴き聲はそゞろに哀愁を誘ふもので、秋が來たといふ感を深くするものである、八月末頃からあらはれるかコホロギにはエンマコホロギ、ミカドコホロギ、ヒメコホロギ、オカマコホロギ等數種あつて一番よく鳴くのはエンマコホロギといふ丈形の黑光りのする奴である、コホロギ中でも白いのは、數多の雄共が一匹の雌を得やうとして競爭する、その中の一匹が選ばれて雌の寵愛をうけやつと願望を遂げて歡喜の絕頂にある時、交尾の終り終らないうち今さきしどやかだつた雌は忽ち鬼女と變つて雄を喰ひ殺してしまふ雄はまたそれを甘んじてゐるから不思議である。

夏の夜の虫聲(下)
……その飼ひ方……

野趣のあるキ
リギリス

綠色または褐色で、身體より長い觸角をもつてゐるその角張つた身體つき、身體より少し短いツンツルテンの翅はあだかも野武士の思はせるが、この暑さにキーチョン〳〵と壹でも鳴いてゐるところはいかにも悠々として呑氣極まる奴である、之は次に述べる馬追虫の身體の二倍もあらうといふ觸角をもつてゐるとは誰知つてゐるところである

愛される
少い馬追虫

馬追虫を俗にスイッチョと呼ばれてゐる虫で。郊外へ出ると到る所でその聲を聞くことが出來る、東京では山の手方面にはゐる、鳴き聲は凉味をさそふのに充分であるが到る所にゐるだけに籠に入れて個ふ人の少いのは不過な身の上といふべきである、野生のものは八月初めからあらはれるがクツワ虫は我武者といふべきであらう、たゞ一匹の虫に過ぎず願望を遂げて歡喜の絕頂にある時、交尾の終り終らないうち今さきしどやかだつた雌は忽ち鬼女と變つて雄を喰ひ殺してしまふ雄はまたそれを甘んじてゐるから不思議である。

涼味を誘ふ
夏の夜の虫聲(下)
……その飼ひ方……

玩具箱でも
いクツワ虫

玩具箱でも棚から落したやうにガヂャ〳〵〳〵〳〵素敵もない大聲で鳴く、所迷惑とはこの聲のことである。あまりうるさいので籠をやくとその當座はしばらく聲が止むがすぐまた鳴き出す、白棚の中でも個處でも勇敢に鳴きつゞける樽のやうな音であるところからこの名が出たのであるが、キリギリスの野武士とすれば八月初めからあらはれるがクツワ虫は我武者といふべきであらう、たゞ一匹の虫に過ぎず願望を遂げて歡喜の絕頂にある時、交尾の終り終らないうち今さきしどやかだつた雌は忽ち鬼女と變つて雄を喰ひ殺してしまふ雄はまたそれを甘んじてゐるから不思議である。

植田水電會社で
又電燈料値下
九月一日より斷行

石城郡植田町植田水力電氣會社では過般電燈料の値下げを斷行したが更らに昨九月一日より左記の如く値下げ斷行する事に決定した務省から工事認可指令が發か時節柄一般から非常な興味を以て觀られてゐる。

臨時燈一夜一燭五厘と定額電燈料は同額の十分の一に、六十ワットの二十五錢を十六錢に、百ワット五十錢を二十四錢に(工料)新增設一燈一圓のものを六十錢に(移轉)一圓のものを六十錢に、メートル需要者三百ワット以下に電熱機の使用を許し百ワット以下使用の場合は電燈一個に三百ワットと以下は二個に換算する

自動車で
少年轢かる
鍛冶町通路で

平町鍛冶町地內道路で十三午後四時廿分頃道路で遊戯中平町土橋飯島太彌三男登司(七)は折柄疾走して來た四丁目三井富吉方自動車六八七號運轉手石城郡好間村字南町田小林清七(二二)自動車泥除に側面衝突を

鶏肉廉賣
平町で
舊盆に

平町養鶏組合では舊盆を當込んで鶏肉食普及宣傳の大廉賣を計畫してゐるが縣でもこれを援助し結果によつて縣下各都市にも及ぼす筈である

東朝機が
國產宣傳
平町に敬意

東京朝日新聞東日本都市訪問飛行機朝日號は十七日正午四倉海岸に上陸するが平町通過の折町民に敬意を表する意味で低空飛行を行い中返り木の葉落し其他高等飛行術の技を演じ飛行中五色の國產品奬用に關する宣傳ビラを撒布しその內に乘物スピード競爭スゴロクと朝日グラフ引換券を含ませ撒く由で朝日新聞の專賣店で引換るものであると

青年溺死
キャンプ生活の
仁井田浦で

去る十三日午後二時頃本籍田村郡飯豐村大字小野山上生れ現住縣立岩瀨農學校三學年生大河原多助(九)は友人三名と共に大浦村上仁井田浦港キャンピング生活に來り居たるものなるが同日水泳中溺死せるものにて四倉署より松本署長檢視一時死體を大浦役場に引き渡したと

好間同窓會
好間村同窓會は十七日午前十時から好間小學校內で開催る小名濱測候所長及び眞言宗智山派布教師赤土興榮師の講演あり餘興としては會員の童話劇浪花節書音機演

郡農會評議會
平町團体事務所樓上で十七日午前九時から郡農會評議會を開催し打合せをなす由

名聲天下に轟く浪界の大統領

愈々御期待の虎丸師當地で七日開場

暑中御伺申上ます、私等今回一門等部一同引連開演仕り候間幸御引き之樣伏而御願申上候

鼈甲濟虎丸師
長講　二席口演

鼈甲濟虎千代　鼈甲濟虎市　曲師虎奴
全　虎雪　全　虎次　吉左衛門　三絃鼈甲濟年
全　虎磯　全　小虎丸　助　鼈甲濟
主催　只野工業所

◎今回は責任興行ニ付座ト一切指持ハ致シマセン。
出演者大數ニ付午後四時花火合圖開場
時節柄大勉强
◎入場料　一等平土間大人金七錢　小人金三錢
割引前賣券到處ニ有マス

聚樂館
電話四七〇

絕對に他座と掛持等は致しません

慢性諸病治療開始

弊院實驗所は物理的療法として醫藥無効とされての、中風、癌、肺結核、癲病、其他の難病病名病原不名病ですらめき〳〵と癒快します。

治療料は一回金二十錢
但し他の醫療や賣藥等と異り効能あらはれざる中は、無料

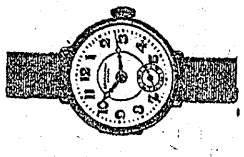
一般難病者は躊躇せず來り試みられと

萬病必治

高速度複式療法
福島縣平實驗所

回春堂療院
福島縣平町仲町八番地
(稅務署東斜向)

開店一週年記念



一九三〇年八月十二日
此の券御持參になられて御來店の御客樣に限り
時計修理料金半額
期間八月十二日ヨリ二十三日マデ　十日間!!!

セーコー堂
平町七橋通り

吉田眼科病院
平町紺屋町

慶二千九百六拾
位置變更
愛谷堰
十二日許可

平町掘越小路一玉川村岩出前田二六山野邊養政長男政豪
△婚姻
石城郡好間村上好間双葉郡久之濱町末續章松十千葉盛一(三三)平町大工町二二鈴木キヨ(二二)
▲死亡
平町仲間町四八佐藤青吉(八〇)

江名漁業の
四倉視察
去十一日江名町漁業組合長代理花澤市藏氏外十二名は四倉町漁業組合視察の爲め來倉事務其他漁業方面の視察をなし歸江せりと

四倉海水浴
連日增加

昨日の四倉海水浴客は四千餘人にして二、三日來より潮も暖かくなり浴客は連日の看板寫眞を同じく流しの客のみ多く「一寸シャンだね、コールドビールをやらうか」の聲に振り向くと委はモウ人込みの中に消ゆ

◇平町の「バーやカフエーで新奇なる戰術を用ひて、エプロン姿の白粉コテ塗りといふウエートスを時間交代に店先に立たせるようになつたが◇正にマネキンガールの街頭進出といふべしか、それが途行く人に秋波といふ無電を盛んに放送して、感電させようとしてゐる、それが知つてゐる客にブツかると引つぱり込まずんばやまずの勢ひで凄い爭鬪が始まる、散歩の人が面白がつて「負けるな、アマッ子」

◇夕暗せまる街頭、キネマのジャズを背景とした雜沓の中り一點景、サレド活動

老婆殺し犯人
正吉と判明す
犯行一切を自白して
愈々起訴と決定

石城郡錦村大字田中物品販賣業助川あき(八一)の强盜殺人事件につき植田署で去七日以來あきの養子忠吉の孫正吉(七)假名を引致取調べの結果正吉は犯行の一切を自白したので八日來平檢事局武田檢事出張愼重な態度を以て取調べを斷行した一日は更に福島檢事局からも福岡檢事正を迎へ捜査上の打ち合せをなした結果正吉を起訴と決定す十三日平支部中谷豫審判事植田署に出張し下正吉を取調べ中で今十四日平刑務支所に收容する運びに至る模樣である正吉が何故强盜殺人の大罪を犯すに至つたかの動機原因は目下